



西山形 コミスクだより



令和6年3月
西山形小学校
運営協議会
事務局
NO.2

後期の教育活動を振り返る

地域や保護者の皆様のご支援とご協力により、無事、後期も教育活動を終えることができました。前期に引き続き、校内外の教育資源をフル活用して学習の質の向上を図ることができました。後期の主な教育活動（9月下旬～2月の活動）を振り返ります。

【成果】学校運営基本方針に基づいて、豊かな体験活動に取り組むことができました。

方針1：五感をはたらかせた体験・学びを充実させていく。

方針3：西山形地区の豊富な人材・豊かな自然・唯一無二の歴史・伝統を、最大限に生かしていく。



▶1年生：生活科「秋を探そう！」
西公園に出かけ、秋の自然に触れながら春や夏との違いに気付いたり、秋の虫を捕まえたり、ドングリや葉っぱを拾ったりしました。持ち帰ったドングリ等を使ってコマややじろべえ等を作って遊ぶ学習に発展していきました。



▶2年生：生活科「町探検」
前期から継続して地域の人と出会ったり、名所・旧所、施設等に出かけたりして学習を継続しています。(写真はコミセンの見学です。)地域のよさをたくさん発見し、地域への愛着がわき、西山形大好きの2年生に成長しました。



▶3年生：総合的な学習の時間「山形の花笠を知ろう！踊ろう！にじいろ花笠隊！！」
地域について学んでいた3年生は、視点を山形市に広げ、「花笠踊り」について学習しました。花笠の歴史を学び、実際に踊ってみることで、主任児童委員の鬼島良子様から踊りをご指導いただきました。学習発表会で披露できました。



▶4年生：総合的な学習の時間「みんなの幸せを考えよう」
前期から福祉をテーマに学習してきました。福祉協議会の方等から学んだ体の不自由な方への接し方等のスキルを生かし、「とかみ共生苑」でお年寄りと交流できました。更に、能登地震への募金活動等の学習に発展しました。



▶5年生：社会「わたしたちの生活と工業生産」
(自動車について)

自動車ができるまでの学習を、際にトヨタ自動車東日本宮城大衡工場で行うことができました。教科書や映像等で学ぶだけでなく、実際に見学がき、生産ラインを見ることが大量生産の仕組みを理解することができました。

▶6年生：社会(歴史)「戦国の世から天下統一へ」

授業で学んだ戦国時代の三武将(信長・秀吉・家康)についての発展学習として、東北の関ヶ原合戦と言われた「長谷堂合戦」について学びました。長谷堂城址から米沢の上杉博物館・神社等に出かけての学習を行いました。

後期も校内外の教育資源を活用して体験的な学びを各学年で行うことができました。一回だけの体験で終わることなく、写真で紹介した体験学習をきっかけに新たな学びに繋がったり、これまでの学習が深まったり、更には、これまでの学習のまとめになったり継続した学習の過程に豊かな体験が位置付けられることができました。教員が、各学年の学習カリキュラムを、マネジメントできた成果と言えます。

方針2：「少人数のよさ」を生かし、一人一人の探究的な学びを充実させていく。

方針5：教職員が集中して学習や活動の準備ができるように、共通理解を図りながら組織および環境を整えていく。



「少人数のよさ」を生かした授業を行えるように、私たち教員が校内研修会を行いました。写真は、12月に開催した「自由進度学習」(教師が一斉に指導を行うのではなく、児童個々のペースや学び方等に合わせて授業が展開していく指導方法)について、天童市立津山小学校の二戸部優先生からご指導いただきました。

【課題から成果へ】

方針4：隣接するコミュニティセンターや学童クラブ等と連携し、それらにつながる学習を実施していく。

当初からの課題であった方針4については、三者(学校・コミセン・学童)独自の取組や機能が、更に充実・発展する協力体制を強化することができました。例えば、コミセン主催の「だんご木づくり」や「冬休み学習会」に学童の児童を中心に本校の児童が参加しました。また、学童主催のクリスマス会に学童に通っていない児童も参加できるように準備していただきました。日常的には、放課後の体育館を開放し、学童の児童が遊べるようにしています。来年度からは、グラウンドも開放する予定です。

今後も、三者の機能(長所)が十分に発揮される持続可能な協力体制を維持していくように努力してまいります。